

郡 都 住 第 183 号
平成20年10月20日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 様

郡上市長 日 置 敏



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号において依頼のあった、今後の道路行政についての意見・提案につきまして、別添のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

岐阜県郡上市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

近年の社会情勢は、財政の硬直化、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来など、大きな転換期を迎えている。しかし、こうした厳しい状況の中、地方においては活力と地域の魅力を高め、豊で住みよい地域づくりを推進することが強く求められてる。また、一方で、国土保全の観点からも地方の活力が国を支えているのも現状である。

本市は、岐阜県のほぼ中央に位置し、県土の10%にあたる1,030km²と広大な面積(内90%は山林)に対し、人口は県の約2%の47,589人、高齢化率が29%と全国平均を大きく上回る厳しい状況下にある。

このような中山間地域においては点在する集落の連携強化と広域交流が地域活性化に向けた生命線であり、それを支える高速自動車道、国道、県道、市道の道路網による広域交通・地域間交通、地域内交通のネットワーク化が必要不可欠である。しかし、地形的な制約もあり未だ危険箇所、孤立集落と共に未整備道路が多く残るのが現状である。道路交通に大きく依存する地域においては更なる道路ネットワーク整備との適正な維持管理が今後の大きな課題である。国に対しては道路財源確保のための暫定税率の堅持とともに、こうした「真に必要な道路整備」に向けた制度設計と予算確保を切に願うものである。

【要望事項】

1. 事業促進

- ①東海北陸自動車道の4車線化事業促進
- ②国道156号「大和バイパス」道路改良の事業促進
- ③国道156号「中津屋・河辺・徳永」歩道整備の事業促進

2. 道路事業費の確保

- ①濃飛横断自動車道「下呂市(金山)～郡上市(八幡)間」の早期事業着手に向けた予算枠の確保
- ②一般国道156号(白鳥地内)二日町歩道整備の事業促進に向けた予算枠の確保
- ③一般国道156号(高鷲地内)西洞バイパスの事業促進に向けた予算枠の確保
- ④一般国道256号(八幡地内)那比・戸谷平工区道路改良の事業促進に向けた予算枠の確保
- ⑤主要地方道金山明宝線「めいほうトンネル・畑佐工区」の事業促進に向けた予算枠の確保
- ⑥県営市町村合併支援農道整備事業「大峠トンネル」に伴う、一般県道鹿倉白山線道路改良の事業促進に向けた予算枠の確保
- ⑦主要地方道大和美並線の事業促進に向けた予算枠の確保
- ⑧県道維持費に関する予算枠の確保

3. 早期事業化

- ①東海北陸自動車道「白鳥IC以北の4車線化」に向けた計画の採択
- ②東海北陸自動車道「ひるがの高原スマートIC」本格導入の採択
- ③国道156号「八幡町城南～五町間」の道路改良(郡上大橋架替)の事業採択

【提案事項】

- ①道路の維持管理に対する新たな補助制度の制定
- ②除雪対策に対する新たな補助制度の制定

○現状 1. 生活道路の確保 【孤立集落の解消】 本市は広大な市域面積の90%以上が森林となっており、森林が迫る谷あいには小さな集落が点在している。日常的な移動手段は自家用車に依存しているが、道路網については、極めて脆弱である。また、狭隘な危険箇所や交通規制区間が多く残り、孤立集落も未だ残る状況である。 2. 土砂災害に対する避難経路の確立 【緊急輸送路の確保】 平成13年4月1日から施行された土砂災害防止法に伴い、市でも危険区域（警戒区域、特別警戒区域）の指定を順次実施しており、緊急輸送路における重複箇所が明らかになってきている。 3. 道路の維持・管理 【舗装補修】 本市の市道舗装延長は886kmあり、昭和40年代から順次整備されてきた。道路の老朽化による損傷は年をおって多くなり、その負担についても地方財政を圧迫する状況となっている。	○課題 1. 生活道路の確保 【孤立集落の解消】 国土保全の観点から、こうした地域における集落の存続が環境の維持に関わる活動を支えている事から極めて重要である。本市と同様の状況は、全国的にも多く残ることから、生活環境の保全・維持に係る山間部の道路については危険箇所、雨量規制箇所等の解消に対する施策を緊急かつ継続的に進めることが課題である。 提案：孤立集落解消を目的とした道路整備に対する、新たな国の支援制度の確立 2. 土砂災害に対する避難経路の確立 【緊急輸送路の確保】 災害時を想定した緊急輸送路に影響を及ぼす土砂災害の危険箇所が山間部では多く残る。しかし、制度的に個々に整備を進める事となっている為、不効率であり整備効果が発揮しにくい状況にある 提案：緊急輸送路確保と土砂災害防止を一体的、優先的に道路事業として進めることのできる新たな制度の確立 3. 道路の維持・管理 【舗装補修】 道路交通の安全性を確保する上では、路面の安定を図ることが重要であり、本市では舗装寿命を30年と仮定した場合、単純計算でも年間29.5kmの舗装修繕を継続実施しなければならない状況である。厳しい財政状況の中、継続的な財源確保が困難な状況にある。 提案：舗装補修を含む道路維持に関し、計画的な実施に対する国の支援体制の確立
--	---

○現状 4. 除雪対策 【除雪体制の維持】 近年の厳しい経済情勢の中、建設業界においても例外なく業者数は減少している。除雪業務については従来から建設業者を基本に進めているが、不規則な降雪量、作業量は、除雪機械の確保や作業体制の維持に大きな負担を掛けており、従来型の除雪体制の維持が困難な状況となっている。	○課題 4. 除雪対策 【除雪体制の維持】 冬期交通を確保する上では、除雪体制の確保は必要不可欠であり本市のような自家用車交通に頼る積雪寒冷地では重大な問題である除雪対策については、国道・県道・市道全て関わることであり、これを実施できる体制の再整備が大きな課題となっている。 提案：除雪作業費の確保・除雪機械の保有を含む除雪体制整備に向けた新たな国の支援制度の確立
--	---

②-2 地域の目指すべき将来像

【道路網整備の考え方】

郡上市は、地形的な制約から主に長良川沿いに主要幹線が集中しており、谷あいを縫って伸びる周辺の道路網については脆弱な道路がまだまだ多く残っている。また、これらの道路は各集落に連絡しているものの、行き止まり道路も多く、集落間を繋ぎ地域連携を支援するためには、まだまだ十分とはいえない状況である。

道路網整備にあたっては、それぞれの路線の持つ機能を整理するとともに、それらの機能が連携し、より効果的、効率的に確立されるようにネットワーク化を図る必要がある。

【道路網整備の基本方針】

(1) 主要幹線道路ネットワークの形成

- ①主要幹線道路ネットワーク整備に向けた未着手区間の事業化、危険箇所の解消
- ②高速道路等へのアクセス強化
- ③災害時等における迂回路機能を併せ持つ環状網の整備
- ④市街地骨格道路網の形成

(2) 整備優先度に基づく道路整備の実施

- ①路線別現状調査による優先度設定と整備優先度に基づく市道の事業化、国道、県道等の事業化要請
- ②土地利用施策等に基づく優先度設定（例：宅地整備や工業団地整備に伴う市道整備）
- ③集落単位の地域経営の取り組み状況に基づく優先度設定と整備優先度に基づく集落内道路の整備

(3) 孤立集落解消のための道路整備の実施

- ①豪雨・豪雪等の異常気象により孤立する虞のある集落を解消するための道路整備
- ②地域の中心部や、学校・病院等公の施設から遠距離、峠など通行困難箇所のある集落への時間短縮を図るための道路整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果等）

様式④

岐阜県郡上市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・国際競争力の強化のための交通サービスの向上 ・地域活力の向上 ・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・東海北陸自動車道4車線化事業の促進 ・東海北陸自動車道「ひるがの高原スマートIC」の本格運用 ・橋梁長寿命化修繕計画への着手	・本年7月に全線開通した東海北陸自動車の交通量増加に伴う渋滞対策 ・観光地へのアクセス向上による地域発展への支援 ・救急医療における、搬送時間の短縮 ・繁忙期における国道156号及び周辺道路の渋滞緩和 ・老朽化する道路橋の急増に対応し経費の縮減をするため、予防的な修繕と計画的な架け替えへの転換を図る。	